

栗石町ユニバーサルデザイン

基本構想

Ⅱ 雫石町ユニバーサルデザイン基本構想

1 基本理念

雫石町には、性別、年齢（子どもから高齢者まで）、能力（障がいの有無、利き手、背の高さ、力の強さなど）、国籍（日本人、外国人、言葉）など、さまざまな違いのある人々が生活しており、また、観光などで訪れます。

できるだけ多くの人々が雫石で快適に過ごせるよう、建物や道路などの施設・設備（ハード）を使い勝手が良いう整備するなど、ユニバーサルデザインの考えで物や生活環境を作っていくことで、多くの人にとって安心・安全な雫石になっていきます。

また、ユニバーサルデザインを進めるためにはハードの整備だけではなく、「人を思いやり助け合う気持ち」、周囲への気配り・心遣いによる「心のユニバーサルデザイン」が欠かせません。

そこで、ハードと心のユニバーサルデザインにより思いやりと優しさにあふれ、ユニバーサルデザインが息づくまち雫石を目指し、基本理念を次のように定めます。

基本理念

思いやりと優しさのまち雫石

2 基本方針

基本理念を実現するために、ユニバーサルデザイン計画の基本方針を次のように定めます。

基本方針 1

すべての人にユニバーサルデザインの心を育みます

社会には、体が不自由な方や、子供から高齢者まで、さまざまな人々が生活しています。町民一人ひとりが多様性を認め合い、自分以外の人のことを考え、思いやり・気配りを心がけることでユニバーサルデザインを進めます。

基本方針 2

すべての人が参加しやすい社会をつくれます

すべての人が快適な生活を送るためには、それぞれの意見を出し合い、共に考えながらまちづくりをすることが重要です。地域間、世代間など人と人のつながりを大切にし、価値観を共有することで、みんなが社会の担い手として活動しやすい社会をつくれます。

基本方針 3

すべての人が快適に暮らせるまちづくりを進めます

さまざまな場所や施設、設備などがユニバーサルデザインの考え方で作られたり、ユニバーサルデザインに基づいたサービスが提供されることで、安全・安心・快適に暮らせるまちづくりを進めます。

基本方針 4

すべての人がわかりやすい情報づくりを進めます

誰もが理解しやすい情報づくりや、利用しようとする人に必要な情報が正しく伝わるよう情報のユニバーサルデザインを進めます。

3 基本構想の目標年次

この基本構想における目標年次を、平成31年（2019年）とします。

この基本構想は、上位計画の見直し、社会情勢の変化や地域の実情を把握し、必要に応じて見直しをしていきます。